

新町政のスタート

「新しい田原本の3つの未来」 の実現に向けて

田原本町長選挙で当選した、森町長の町政（任期4年）がスタートしました。



もり あきひろ
森 章浩 (40歳)

Profile

昭和50年生まれ。

平成10年京都大学農学部卒業後、アメリカヴァンダービルト大学留学。

平成11年学校法人西大和学園白鳳女子短期大学就職課を経て、平成13年に社会福祉法人愛和会へ。平成27年まで社会福祉法人愛和会朝和保育園園長を務める。子育て支援のNPO法人「子育てすこやかサークル」初代理事長。田原本町教育委員会教育委員、田原本町教育委員会教育委員長、一般社団法人橿原青年会議所第42代理事長を歴任。

このたび、皆様のご信任を賜り、田原本町政を担わせていただくことになりました。町長としての使命を果たすべく、全身全霊で期待に応えてまいりたいと決意をしているところです。私は「新しい田原本の3つの未来」を創ると申し上げていました。

新しい田原本の3つの未来

- ① 子育てしやすい未来
- ② 住み続けたい未来
- ③ 安心して暮らせる未来

この未来を創るための新しい活力の循環を産み出すのが私の役目と自負しています。

1つ目の「子育てしやすい未来」は、町に明るさを創りだす子どもを育てやすい環境整備です。就学前教育環境は子育て世代には重要



▲力強く訓示を述べる森町長

な位置づけであり、幼稚園・保育園の区別ではなく、就学前という視点での取り組みを始めたいと考えています。また長年の課題であった中学校給食の早期実施、医療費の拡充と子育て家族が抱える課題に取り組みたいと考えています。

2つ目の「住み続けたい未来」では、働く・学ぶ・消費できる環境と商、工、農業を通しての田原本ブランド構築の推進を図りたいと考えます。田原本は近隣6市町に隣接する数少ない町です。アクセスの便もよく、県内のみならず大阪への通勤・通学には非常に便利です。だからこそ、周辺から来ていただける要素を見つければ、利便性を活かし、更なる発展とブランドの構築が可能であると考えます。

3つ目の「安心して暮らせる未

来」は、高齢者の方の生きがい創出、居場所づくり、生活基盤の拡充を試み、健康寿命を延伸したいと考えます。教育現場での活躍の場所、子どもたちと触れ合う場所など世代間を越えた交流を試みます。大災害への備えや防災意識の確立、自治会を中心とした地域コミュニティの構築は、相互扶助の集大成であります。安心して暮らせる田原本を創りたいと考えます。

現在の田原本には課題が山積しています。ひとつずつ丁寧に取り組み、限られた財源の中で10年後の未来を町民の皆様が語れる田原本を実現したいと考えます。そして本年田原本は合併60周年を迎えます。これを機に、皆様とともに田原本の歴史と文化を学び、田原本の持つ魅力を再発見し、この町に住んでいてよかった、この町で働いてよかった、この町に生まれよかったと思える取り組みを実施したいと考えます。

町長として使命を果たすべく邁進いたしますので、町政運営に更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

田原本町長選挙及び田原本町議会議員補欠選挙結果

町長に森章浩さん、町議会議員に牟田和正さんが無投票で初当選

町長辞職に伴う田原本町長選挙と、それに伴う田原本町議会議員補欠選挙が1月26日に告示されました。

町長選挙では、新人の森章浩さん（40歳、無所属）のみの立候補となり、無投票で初当選が決まりました。

また、町議会議員補欠選挙でも、欠員1人に対して、新人の牟田和正さん（44歳、無所属）のみの立候補となったため、無投票当選となりました。



▲選挙管理委員長から当選証書を受け取る森町長